

証券監督者国際機構 (IOSCO) は、本日、金融安定性に潜在的なリスクを引き起こしうる投資ファンドのレバレッジのモニタリングの一助となる2ステップの枠組みを公表した。

この枠組みは、「投資ファンドにおけるレバレッジ評価の枠組みについての提言」報告書に概要が記載されており、ファンドまたはファンドグループのレバレッジ関連リスクを意味のある形かつ一貫性のある形で評価できることを意図した2ステップを含んでいる。提言は、正確なレバレッジの測定と、異なる法域で提供される幅広いファンドに一貫性を持って対応できるシンプルで強固な計測手法とのバランスを取ることを意図している。

IOSCO は、当局に対し、このレバレッジ枠組みをファンドのレバレッジ関連リスクの評価の基礎として使うよう推奨している。ステップ1は、当局が、金融安定性に対するリスクを引き起こしうるファンド群をさらなる分析のために特定しながら、そのようなリスクを生み出す可能性が低いファンドを評価対象から除外できる方法を示している。ステップ2は、ステップ1で特定されたファンド群のリスクベースの分析を行うものである。

ステップ1において、IOSCO は、当局に対し、グロスの想定エクスポージャー (GNE) または調整されたグロスの想定エクスポージャーを分析ツールのベースラインとして使うことを推奨している。資産クラスごとにロング及びショートのエクスポージャーについての情報を集めることにより、当局は、レバレッジの方向性について深い洞察を得る。

ステップ2において、IOSCO は、各当局に対し、ステップ1で特定された潜在的に金融システムに重大なレバレッジ関連リスクをもたらす可能性のあるファンドを分析するための適切なリスクベースの方法を定めるアプローチ方法を決めることを推奨している。

アシュレー・オルダーIOSCO 代表理事会議長は、「IOSCO は、世界中のあらゆるタイプの投資ファンドのレバレッジをモニタリングする最初の包括的なアプローチを開発した。これは、当局が、市場の効率的な機能を損なう可能性のあるレバレッジ関連リスクを評価するのに役立つ枠組みとなる。

利用可能なデータに基づいて、IOSCO は、グローバルレベルのアセットマネジメント業界におけるレバレッジのトレンドを反映した年次報告書を公表する予定である。最初のレポートは、2021年に公表される予定である。IOSCO は、その後のレポートで段階的により多くの法域をカバーしていく予定である。